

# 凍結解凍覚醒法 閉校活用事業

岡山県吉備中央町 就労支援 バナナ栽培

廃校活用バナナ園 1000本 バナナ苗木定植 2020年1月14日

1 Photo Film hiroshi nakazawa > 1A 2019 11 19



バナナ

## 凍結解凍覚醒法バナナ栽培で就労支援プロジェクト

氷河期を乗り越えて世代を繋いだ着想を得た栽培技術で種子をマイナス60℃で凍結する。種子や細胞に氷河期を疑似体験をさせ、低温ストレスを与え、遺伝子内に記憶された環境情報で、種子の環境順応性を最大限に覚醒させます。遺伝子組み換え技術と違い遺伝子情報異変が無いままDNAの眠る本来の優れた種子を作りだし、耐寒性、耐熱性、耐虫性、を增強し、さらに驚異的な成長スピードと収穫量を可能とします。人体にも地球にも害の無い有機無農薬の完全オーガニック栽培で、熱帯地域の作物を適切な温室環境で収穫可能である凍結解凍覚醒法農業による地域活性化の地方創生プロジェクトで地域づくりをお手伝いいたします。

特許 第6300215号
植物の特性を增強する方法
登録日 平成30年3月9日

Presentation by AGREVO GREEN HOUSE

AGREVO BIO 株式会社

AGREVO BIO 検索

編集：発行 AGREVO GREEN HOUSE 株式会社

編集：協力 農業法人 D&S Tファーム 株式会社

編集：協力 国産バナナ農園株式会社

# 閉校した中学校跡地の活用は・・・

## 課題解決は「バナナ」！

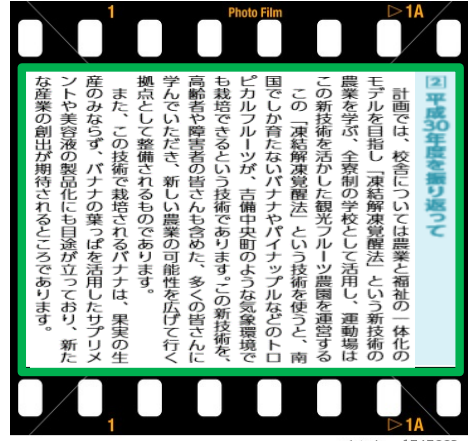
凍結解凍覚醒法の完全コンサルタント業務をサポートで農業振興事業を構築

2020

Vol.06



pixta.jp - 1747663



pixta.jp - 1747663

### 凍結解凍覚醒技術を施したバナナ苗



pixta.jp - 1747663



pixta.jp - 1747663

## 吉備中央町にて中学校跡地の売却が議決されました。

### 旧竹荘中学校舎の売却を議決 (体育館、特別教室、部室棟を含む)

**12月定例会**

12月議会は12月4日開会。執行部から一般会計および特別会計の特別会計の維持、財産管理、財政健全化の計画進捗が上げられ審議。全ての議案が議決され、19日開会した。

- 一般会計予算補正
- 建物売却収入 1,000万円
- 歳出
- 特別会計予算の補正
- 国民健康保険 2,000万円を追加
- 9小学校のエアコン設置 16億2,200万円に
- 土不凍害対策費 6,880万円
- 土木施設改善費 1億5,600万円
- 災害復旧費補助 4,600万円
- 災害復旧費補助 4,600万円
- 学校施設 3,500万円
- 米作り農産物振興費

### 旧竹荘中学校が 農業大学校に

地域の農業の活性化と老人や障害者の福祉を推進し、農福一体化モデル事業を実現させることを目的とし、2・3階は中高等学校、障害者学生の寮として活用する。

また、学生の研修農場とする。カフェレストランやイベント広場も設ける。専用バスで岡山駅、岡山空港から、全国の観光客を運送し、見て、食べて、楽しんで買って帰ってもらえる観光農園を運営する。

**校舎**

1階は中高校生、障害者などの大学校として活用し、2・3階は中高等学校、障害者学生の寮として活用する。

バナナ科、パイナップル科、パパイヤ科など栽培技術を1年かけて学ぶ。100人で中高校生50人程度、障害者50人程度とする。

**グラウンド**

グラウンドに大規模温室施設を建設し、日本のバナナやパイナップルなどの完熟した果物を季節に問わず収穫体験ができる観光農園全天候型観光トロピカルフルーツ園として活用する。

**体育館**

体育館では国産希少パイナップル500台の博物館を備えて、愛好家に見て、試乗して楽しんでいただく施設とする。

# 中学校跡地がバナナ農園に！ 農福連携施設で障がい者、高齢者の就労支援も！

栽培するのは、熱帯地方原産の… バナナ！

## AGREVO BIO 速報



**バナナ苗の植え付け作業**



この吉備中央町でバナナが

吉備中央町  
山本雅則町長

**一面に広がるバナナ畑を見て山本町長**

2020年1月、岡山県吉備中央町が地元の幸福産業と共同で進めてきた就労支援のための農園が完成した。この農園の土地は、2014年に閉校した中学校跡地を利用したものだ。

同社は昨年3月から1万3500平方メートルのグラウンドに土を入れ、農業用ハウス11棟（計6500平方メートル）を建設。細微は14日から始まり、16日に作業を公開した。

計画ではバナナ1000株を植え、今春から研修生として障がい者や高齢者を優先的に受け入れて栽培方法を指導する。7月には観光農園をオープンする。3年間で約100万本の出荷を見込んでいる。

この事業は、観光振興と雇用の促進を目的に、町と県内でフルーツやコーヒーの栽培を手掛ける幸福産業グループが、中学校跡地を利用して、就農を希望する地元の高齢者や障がい者に1年間、栽培方法を学んでもらい農業の活性化と福祉の推進を両立させるのが狙いです。

運営する幸福産業はバナナだけではなく、パイナップル、グアバ、パパイヤの栽培方法も指導を行う。

幸福産業 取締役技術責任者  
田中節三  
「吉備中央町をトロピカルシティに」

吉備中央町 山本雅則 町長  
「他の町より強みを持ったので、最大限生かしたい」

凍結解凍覚醒法は、地域農業の活性化と雇用促進を可能性を高めます。今後も、農業の衰退地域、人口減少地域での活用を進めてゆくことが、地域の課題解決へつながります。



中学校跡地でバナナ農園  
就労支援で農園

pixta.jp - 1747663



バナナ  
1000本

pixta.jp - 1747663



pixta.jp - 1747663

閉校となった中学校跡地のグラウンドに11棟の農業用ハウスを建設



pixta.jp - 1747663



pixta.jp - 1747663

凍結解凍覚醒法の農業用ハウス建築

氷河期を乗り越えて世代を繋いだ着想を得た栽培技術で種子をマイナス60℃で凍結する。種子や細胞に氷河期を疑似体験をさせ、低温ストレスを与え、遺伝子内に記憶された環境情報で、種子の環境順応性を最大限に覚醒させます。遺伝子組み換え技術と違い遺伝子情報異変が無いままDNAの眠る本来の優れた種子を作りだし、耐寒性、耐熱性、耐虫性、を増強し、さらに驚異的な成長スピードと収穫量を可能とします。人体にも地球にも害の無い有機無農薬の完全オーガニック栽培で、熱帯地域の作物を適切な温室環境で収穫可能である凍結解凍覚醒法農業による岡山県吉備中央町活性化の地方創生プロジェクトでバナナ農園づくりをAGREVOグループはお手伝いいたします。

凍結解凍覚醒法栽培を活かし街をPR



pixta.jp - 1747663



pixta.jp - 1747663

農福連携で障がい者、高齢者のかでトロピカルシティへ！

東南アジア原産のバナナを国内栽培。バナナだけでなく、パイナップル、グアバ、パパイヤなどの栽培も行い、「国産」の熱帯地域フルーツを名産として「トロピカルシティ」をPRして行く。